

## 『商経論叢』編集方針

1. 本紀要は、商学部教員による研究報告、商学会主催の講演、シンポジウムの報告を主な目的とし、下記の事項を掲載する。
  - ① 研究報告：論説，研究ノート，書評，翻訳，資料等
  - ② 講演，シンポジウムの報告，資料等
  - ③ 学会活動報告（年1回）
2. 投稿原稿には、報告の種類（論説，研究ノート，書評等）を明記する
3. 投稿者は、編集委員を通じて原稿を提出しなくてはならない
4. 投稿原稿は2回で校了とする
5. 投稿原稿の字数は原則として30,000字を上限とする
6. 本誌は原則として年3回（第1号：9月，第2号：12月，第3号：3月）発行する

学会長及び編集委員長 高橋 公忠  
編集委員 石原 定和  
松尾 知也

---

## 編集後記

構成や編集上の理由で、商経論叢の紙面の大きさと表紙を今年度から変更することになった。調べてみたところ創刊が1960年なので、以前の形式の紀要は44年間発行されてきたことになる。非常に長い歴史を持つことに驚き、伝統の重みを感じて、はじめは変更するのにためらいを感じた。

歴史や伝統は大切にしなければならないものである。しかし44年も経つと世の中は大きく変わる。研究は大きく進歩し、社会から必要とされる研究も変わってくる。過去の研究を踏まえた上で、積極的に新しいものにも目を向け、新たな知を創造していかななくてはならないという研究者としての意識を再確認すべき時期が来ているのかもしれない。この変更を機に、本誌がさらに学術的な議論を活発にし、学問の発展に寄与する知的生産の場になることを期待したいと思う。

（編集委員）

---